

◇ 「世間の空気を読む」

(株)毎日放送 常務取締役 木田洋一

就職情報会社が学生の採用辞退率を企業に販売していたことが問題になっています。

ネット社会の浸透とAIの進歩で、人が何に興味を持ちどんな行動をしたかなど個人の情報が手に取るように入手できる時代です。その情報を得るために、企業はタダで色んなサービスを提供することで多くの個人の情報を集め、それを様々な紐づけや分析をして必要とする企業に売るビジネスが、急激に伸びています。ありとあらゆる業種で、これが当たり前になっており、技術の進歩でいろんなことが出来るようになりましたが、一方でやってはいけないこととの線引きが曖昧になっています。

ところが、今年になって欧米を中心に、グーグルなどGAF A、ピクテックとも呼ばれる巨大IT企業による個人情報活用に規制の動きが出てきています。日本政府も、そうした動きに舵を切ってきています。そして、個人の情報を使ったビジネス競争の真ただ中にある企業にとって、そうした世間の動きより業界の競争の方に必死だったことが今回取り上げる失敗事案です。

IT、AI技術によって日々、新しいサービス、ビジネスが生み出す競争が激化していただけに、その中にいると世間のこんなことまでやるのかという違和感、拒否感に気づいていなかったように思います。“業界の常識は世間の非常識”とよく言われますが、今回の件は、業界の急激な新技術、新サービスの進歩の真ただ中にいると世間の空気が変わったことに気が付かず大きな失敗、不祥事となってしまった例です。やはり、ものすごい勢いで新しいサービス、ビジネスを生む競争の中では、行き過ぎていないか、こんなやり方は世間から見たらどう見えるかと一歩立ち止まることも必要です。もちろん、IT企業でなくてもBtoBのビジネスなどで業界だけで動いていると世間の目を忘れてしまいます。

今回は、顧客企業に迷惑をかけただけでなく、自社を利用した学生に不信感を生み、さらに来年から本業の就活サイトに学生が集まらない状況になってしまいかねなくなり、副業で儲けようとして本業に巨大なダメージ与えることになってしまいました。

◇ 『メディアは社会貢献企業に注目！』

日本一明るい経済新聞 編集長 竹原信夫

令和元年もあとわずか。あっという間に新しい年を迎えます。時代の変化は激しいです。米国の大学から最近帰国された教授の話では、「グーグルではEメールはもはやFAX化し社内では禁止、会議室もない」とのこと。LINEのようなSNSでコミュニケーションを取るそうです。

企業の価値も変化。例えばISOです。以前はISO9001やISO14000の認証取得はニュースになりました。業界初の取得とか、一般紙でも認証取得が記事になりました。今やISO取得は当たり前。もはやニュースではありません。今はISOに代わって何がニュースか？SDGsではないでしょうか。**Sustainable Development Goals** (持続可能な開発目標)の略称です。2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標です。この目標に向かって、具体的に頑張っている中小企業が評価。メディアも注目します。企業の価値が売り上げ、利益よりも社会貢献へ。良い会社の評価基準が変わろうとしています。女性やLGBT、外国人が活躍する会社。工場や事務所の活動を再生エネルギーでまかなう会社。今、メディアが取材したい会社です。過去のような、守らねばならない公害対策、環境対策ではなく、社会に役立つ自主的な活動です。エコバッグなど“エコ”という言葉もメディアからほぼ消え、SDGsに代わっています。モノを安く買う消費者よりエシカル消費者が評価されています。環境を含め社会にエエことするとニュースになります。令和2年は社会にエエこといっぱいしてメディアに出ましよう。

ポイント

- ・エエ会社の評価が変化
- ・企業はSDGs
- ・消費者はエシカル消費